

明智地域自治区運営協議会だより

令和7年度第3回明智地域自治区運営協議会が12月23日（火）に明智振興事務所にて開催されました。内容は下記のとおりです。（出席委員数：運営協議会委員22名中18名、オブザーバー3名 傍聴者：2名）

1. あいさつ

【杉山会長】

・H3 ロケットの打ち上げ失敗は残念である。本日は、まちづくり活動補助金の優先順位を決定する重要な会議である。慎重な審議をお願いする。

2. 協議事項

（1）令和8年度まちづくり活動補助金・活動交付金事業の承認について

- ①恵那市地域のまちづくり活動補助金交付要綱 資料1
- ②令和8年度地域のまちづくり活動補助金・交付金事業計画案 資料2
 - ・単独事業 上限5事業（申請5事業）・・・優先順位付けを行う
 - ・連携事業 明智町中心1事業（他の地区中心3事業）

【事務局】

- ・町内各団体から申請のあったまちづくり活動補助金（単独実施分）5事業の申請内容を説明する。明智町として優先順位を付けるため、配布済みの採点表に記入し、集計後に発表する。
- ・明智町が主体となり、他の地域自治区と連携して実施するまちづくり活動補助金（地域間連携分）1事業の申請内容を説明する。事業名は「遠山氏ゆかりの城活用事業」で岩村町と連携する観光連携事業。
- ・明智地域自治区への活動交付金について、事務費と事業費の内訳を説明する。

【各事業実施団体代表からの事業説明】

- ・「みらい会議」：交流人口を拡大し、空き家バンクへの登録とマッチングを促進することで、人口増加に寄与する。
- ・「まいまいくらぶ」：引き続き、子供たちが楽しめる場所作りを目指していく。
- ・「吉田地域活性化委員会」：地域力を強化し、吉田地域にとどまらず町全体を巻き込み、交流人口の拡大を目指す。
- ・「ききょうの会」：交流人口の拡大を図り、明智が注目されるような取り組みを進める。明智の山城や歴史について、ホームページで情報発信をする。
- ・「観光協会明智支部」：山城が注目されており、岩村と連携して周遊を促進する。

【意見等】

- ・今後、各事業のKPI評価を明確化し、順位付けを容易にするため、資料を検討してほしい。
- ⇒事業内容について承認。

【事務局】

- ・まちづくり活動補助金（単独事業）の集計結果を報告する。
 - 1番 空き家を活用した明智みらい事業（明智みらい会議）
 - 2番 若者と高齢者が共に創る地域の絆結びと都市交流事業（吉田地域活性化委員会）
 - 2番 戦国の歴史文化遺産（山城、中馬街道、八王子神社）を活用した新たな魅力創出事業（桔梗の会）
 - 4番 イルミネーション事業及び子ども遊び場整備と魚つかみ体験事業（まいまいくらぶ）
 - 5番 下ヶ淵環境保全事業（下ヶ淵イルミエール）
- ※2位は同点となり、2事業が選ばれました
- ・まちづくり活動補助金については、年明けに審査会があるため所長が出席する。結果については改めて報告する。

(2) 明智町新公共施設検討委員会結果報告及び報告書の提出について

【事務局】

- ・令和7年12月9日（火）、第2回明智町新公共施設検討委員会を開催し、結果報告書を取りまとめた内容について説明し、明智町新公共施設検討委員会結果報告書の提出について協議願う。

【意見等】

- ・浸水地域への建築可否を市で議論している。優先順位は山岡が先だが、3m 浸水区域で進展はない。明智は浸水時間が短く、問題を解決できる可能性がある。建設課と協議し、実現を図るとよい。
 - ・かえでホールには価値のあるヤマハ C3 ピアノがある。新しいホールに残す。
 - ・アンケート数は少なく、費用も気になるが、明智にできればうれしい。
 - ・場所は基本的に現在のコミセン付近がよいと思うが、今後、市と協議を進める。
 - ・ホールは多機能を想定したものになると思う。
- ⇒報告書の提出について承認。

(3) 明智地域自治区運営協議会から恵那市への要望について

【事務局】

- ・下ヶ淵のかえで周辺の景観整備として県道沿いの樹木等を伐採し、併せて明知城周辺整備として本丸周辺の樹木を伐採することを、市に要望する旨を提案する。

【意見等】

- ・明知城の国指定を目指し、明智の町から城山と分かるように整備してほしい。まちづくり懇談会や担当課長にメールで直接要望したが、満足できる回答は得られなかった。
 - ・来年度も、大正村・観光協会・地域自治区が連携し、要望活動を継続して進めていく。
- ⇒要望書の提出について承認

3. 報告事項

【役員会】

(1) 第1回役員会の報告（令和7年11月12日（水）開催）

①第3次明智地域計画について

- ・キャッチフレーズと地域連携事業について協議し、承認されたことを報告

②規約の改正について

- ・運営協議会役員数変更に関する規約改正を協議し、承認されたことを報告

(2) 各部会からの報告

【安心部会】

- ・特になし

【郷土部会】

- ・「明智八王子神社と明智遠山氏」のパンフレットを作成し全戸配布を予定している。

【賑わい・若者部会】

- ・12月13日イルミネーションイベントを開催し盛況であった。

(3) 明智中学校閉校記念事業実行委員会からの報告

【記念事業部会】

- ・閉校記念事業を令和8年3月21日（土）12：00～明智中学校で開催する。

【記念誌事業部会】

- ・閉校記念誌を作成し全戸配布を予定している。

【財務部会】

- ・寄附金のご支援をお願いする。

4. 各種団体・委員さんからのご意見・情報交換

- ・各団体の活動が、日常生活の中にしっかりと息づいていると感じました。こうした場で話し合いを重ねながら、新しい風を取り入れ、見直しを進めていければと思う。
- ・観光客の皆さんから山城について質問を受けることが多いため、山城を積極的にPRし、来訪者を増やしたい。大正村でも魅力ある企画を考え、各団体の意見や若い方の協力を得ながら進め、こうした意見を踏まえ、新しい資料館を整備したい。新公共施設については、明智文化センターの老朽化が深刻なため、できるだけ早期に対応を願う。
- ・振興事務所前のイルミネーションは2月21日まで点灯している。園児の絵も飾っているのので、ぜひご覧いただきたい。「光秀ゆかりの地」ののぼり旗設置事業も検討している。春には芝生広場や川広場の整備を始めるので、ご協力を願う。
- ・11月30日に大正村駐車場で古民具イベントを行った。古民具に興味を持つ方が多く、SNSや新聞で告知し、来場者で賑わっていた。町外の出店者を呼び、初めて明智を訪れた方から「良いところ」との声をいただいた。出店者のファンも訪れ、明智や紡ぐ舎の活動を知ってもらう機会になった。同時に空き家相談会を行い、4件の相談があった。若い夫婦も含まれ、明智に住みたいという声があった。条件に合う物件はなかったが、移住希望者を受け入れる仕組みづくりが必要だと考える。「よってっ亭」を使った出店者から、今後も利用したいとの声があり、空き店舗活用の仕組みも求められる。若い方を呼び込むため、低いハードルで試せる仕組みを整え、移住・定住につなげることを願う。
- ・吉田地域活性化委員会では、今後地域の農業がどうなるのかを心配する声があり、農業への取り組みを進めている。すわがね整備部会では、水資源や環境に目を配っている。太陽光パネルや蓄電所の設置が本当に地域のためになるのか、他人事ではないテーマであるため、皆で話し合いながら進めていきたい。
- ・ロマン会は解散が決定している。ポイントカードの親機の調子が悪くなった。来年6月30日までポイントを打ち、7月1日から12月31日まで回収する。その後、1月から2月に残務処理を行い、解散する。
- ・恵南商工会青年部からのお知らせです。恵南イルミネーションスタンプラリーの開催を予定している。明智、岩村、山岡、上矢作の各地区を巡り、イルミネーションを多くの方に見ていただきたい。恵南商工会明智支部では、やり方を変え、現在駅前の商工会の表をライトアップしているので、ぜひご覧いただきたい。
- ・小学校PTAです。校長先生から今後10年の新入生数の推移を聞いている。数年後にはひと桁になる見込みだ。このままではPTA役員が決まりにくく、規約改正も進めているが難しい状況になっている。少子化の進行を実際に目にし、驚いている。子どもが減っていくことについて、この場で議論していただけることを願う。
- ・閉校にちなんで、3年生が中心となり、体育大会の親子対抗綱引きやフィルハーモニー、かえでまつりのステージイベントなど、さまざまな行事を企画し実行している。「わくわくフェスティバル」と「かえで祭」で募金活動を行い、約3万7千円が集まった。これまで子どもたちは多くのイベントにボランティアで参加してきたが、中学校がなくなると活躍の場が減る。中学校との連携や、その窓口の課題について、この場で考えていくことを願う。
- ・消防団は12月28日に年末特別夜警を行う。29日と30日は負担軽減のため自宅待機とし、防災無線で呼びかけを行う予定だ。消防団の人数が減少しているので、ご家族や近隣の方への声かけを願う。
- ・月に2回、一人暮らしの高齢者を訪問している。ご近所で気になる方がいたら、民生児童委員に声をかけてほしい。その後、包括支援センターや振興事務所へつなぐので、協力を願う。

・ロマン会が活動できていない。消防団の人数が減っている。小学生がひと桁になるなど、深刻な問題が続いている。このままではサービスが行き届かなくなると感じている。10年先の明智をどうするのか、真剣に考えていくことを願う。中学校の閉校後の活用については、企業誘致で人口を増やせないか市長に伝えているが、恵那市から返答はない。働く場があれば人は来ると考えているので、皆で力を合わせて取り組む必要がある。

・少し早い、「光秀まつり」と「ちょっとおんさい祭り」の会議を行っている。明智に人が来ない理由を考えたとき、PR不足を感じている。同じことを続けていてはだめなので、少しずつ変えていく必要がある。皆さんの意見も聞きたいので、良い案があれば知らせてほしい。

・かえでまつりの反省会を先日行っている。11月は他地区でもイベントがあり、出だしの来場者は少なかった。出店者の売上は一番多いところで10万円超、少ないところで3〜4万円だった。売上があれば再出店につながるの、今後の検討が必要。今年盛り上がったのは、中学生や高校生が主体的に関わってくれたことだ。産業祭だったかえでまつりの方向性が変わりつつあると感じている。今後も中学校との連携や、中学生のボランティア参加の仕組みづくりに取り組む必要がある。お祭り自体もPRを含め、さまざまな人を巻き込みながら変えていくとよい。

・恵南文化遺産活用実行委員会が恵那文化センターで山城トークショーを開催し、約200名が参加している。今日の話聞き、山城や移住定住など、それぞれが自律的に活動していると感じている。今後、皆で集まり話し合える場をつくり、強い組織になるとよい。

【オブザーバー伊藤市議より】

・まちづくり補助金事業では、毎年確実に成果が出ていると感じている。多くの人が訪れ、活動を通じて次の展開につながっている。今年は下ヶ淵に非常に多くの人が来ていたので、要望を実現させたい。山城イベントでは参加者の半数以上が市外からであり、今後も市外からの来訪が期待できると感じている。公共施設統合では「かえでホール」の機能を残す意向を示しており、ここにはこだわる必要がある。閉校事業は盛んで工夫されており、PRにはさまざまな方法を使うことが重要で、口コミが最も効果的だと考えている。中学校閉校後の活用は閉校後に本格化する予定で、まず地域の声を聞き、地域の声がなければ、市場調査を行い、民間委託の方向になると聞いている。

【オブザーバー平林市議より】

・公共施設統合について、利用者の話し合いに参加している。地域計画についても部会で話し合っている。話し合いに参加することで、自分事として捉えられると感じている。今後も丁寧に進めていきたい。児童数の減少や子どもたちの活躍の場をどうするかといった課題が出ているが、自律的に頑張る団体も増えている。今、自分たちが何を考え、どう動くかについて、話し合いを通じて一緒に考えていきたい。

【オブザーバー大塩前副市長より】

・イベント開催時には、恵那の記者クラブ（中日、岐阜、読売、朝日、毎日、NHK）を活用するとよいと考えている。市長の記者会見時に、他の事業も一緒に報告できる。ひと工夫して「こんなイベントがあります」と発信できることを願う。学校閉校事業については、教育委員会でPRするのか、自分たちで行うのか、工夫するとうよい。

問い合わせ先：明智地域自治区運営協議会事務局（明智振興事務所内） ☎0573-26-6862

まいまいあけち
maimai akechi



公式HP

